

第6回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会、海の駅とまり協議会運営会議

日 時 平成31年2月14日(木) 18時30分から
場 所 民宿海晴館

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 両協議会について
 - (2) その他
4. その他
5. 閉会

湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会委員名簿

任期：平成30年8月10日～平成32年8月9日（2年間）

敬称略

| | 区分 | 役職 | 氏名 | 備考 | |
|----|----|--------------------|------|--------|-----|
| 1 | 産 | 鳥取県漁業協同組合 泊支所 | 組合員 | 朝日田 卓朗 | |
| 2 | 産 | 湯梨浜町商工会 | 副会長 | 石沼 友 | 副会長 |
| 3 | 産 | 鳥取中央農業協同組合 泊支所 | 組合員 | 尾川 寛信 | |
| 4 | 福 | 社会福祉法人 湯梨浜町社会福祉協議会 | 事務局長 | 西田 貴頼 | |
| 5 | 金 | 株式会社山陰合同銀行 松崎支店 | 支店長 | 澤 志任 | |
| 6 | | 泊総区代表 | | 中尾 輝夫 | |
| 7 | 公募 | | | 田嶋 昭彦 | |
| 8 | 公募 | | | 坂田 克 | |
| 9 | 公募 | | | 遠藤 公章 | 会長 |
| 10 | 公募 | | | 渡辺 由佳 | |
| 11 | 公募 | | | 石井 美佳代 | |

| | | | | | |
|--|--|------------|-------------|-------|-----|
| | | 湯梨浜町 | 副町長（地方創生担当） | 仙賀 芳友 | |
| | | 湯梨浜町みらい創造室 | 室長 | 遠藤 秀光 | 事務局 |
| | | 湯梨浜町みらい創造室 | 主事 | 谷岡 雅也 | 事務局 |

海の駅とまり協議会 会員名簿

| | 所属 | 氏名 | 備考 |
|--|--------------|-------|--------|
| | 湯梨浜振興合同会社 | 戸羽 正廣 | |
| | 合同会社ippo | 遠藤 公章 | 会長 |
| | 潮風の丘とまり | 森永 義和 | |
| | 有限会社石沼 | 石沼 友 | 監事 |
| | 民宿海晴館 | 吉村 勝 | |
| | CROWD SURF | 横山 仁志 | |
| | 鳥取県栽培漁業センター | 氏 良介 | |
| | 株式会社栄進工業 | 坂田 克 | 副会長 |
| | JA鳥取県中央会 | 松田 優子 | |
| | 鳥取県漁業協同組合泊支所 | 谷口 朝宏 | |
| | 湯梨浜町地域おこし協力隊 | 辺 美礼 | オブザーバー |

| | | | |
|--|-----------|-------|-----|
| | 湯梨浜町産業振興課 | 西原 秀昭 | 事務局 |
| | 湯梨浜町産業振興課 | 岸田 哲夫 | 事務局 |
| | 湯梨浜町産業振興課 | 榎本 達志 | 事務局 |

| | | | |
|--|---------------------------|------|----------|
| | 中小機構中国本部、株式会社地域事業再生パートナーズ | 今若 明 | コーディネーター |
|--|---------------------------|------|----------|

海の駅とまりビジョン

～湯梨浜町泊地域の事業者間の連携による

泊地域ならではの資源を活かした

新たなプロジェクトへの挑戦～

平成 30 年 3 月 26 日

目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 湯梨浜町泊地区の概要..... | 1 |
| 2. 湯梨浜町泊地区の主な地域資源..... | 2 |
| 3. 湯梨浜町泊地区「海の駅とまり 構想」..... | 3 |
| (1)「海の駅とまり」の目的..... | 3 |
| (2)「海の駅とまり」における事業創出の考え方..... | 4 |
| (3)「海の駅とまり」の事業創出プロジェクト..... | 5 |

1. 湯梨浜町泊地区の概要

(1) 世帯数、人口

| | 年 | 世帯数 (世帯) | 人口 (人) | 年齢別割合(%) | | |
|------|-------|-------------|-----------|----------|--------|-------|
| | | | | 14歳未満 | 15～64歳 | 65歳以上 |
| 泊地域 | 平成17年 | 871 | 2,954 | 14.7 | 56.7 | 28.6 |
| | 平成22年 | 860 | 2,737 | 13.4 | 56.4 | 30.2 |
| | 平成27年 | 833 | 2,518 | 12.0 | 54.1 | 33.9 |
| 湯梨浜町 | 平成17年 | 5,374 | 17,525 | 14.9 | 59.3 | 25.8 |
| | 平成22年 | 5,418 | 17,029 | 14.3 | 58.7 | 27.0 |
| | 平成27年 | 5,482 | 16,484 | 14.1 | 55.8 | 30.1 |

(出典:国勢調査)

(2) 事業所、観光入込客数

■事業所

| | 平成8年 | 平成13年 | 平成16年 | 平成21年 | 平成24年 |
|-----------|------|-------|-------|-------|-------|
| 事業所数(事業所) | 138 | 127 | 95 | 93 | 74 |
| 従業員数(人) | 768 | 730 | 416 | 555 | 422 |

(出典:事業所・企業統計調査、経済センサス)

■観光入込客数

| | 平成8年度 | 平成12年度 | 平成17年度 | 平成22年度 | 平成27年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 石脇海水浴場(人) | 22,000 | 17,650 | 11,300 | 13,350 | 13,530 |
| 潮風の丘とまり(人) | 79,167 | 55,826 | 52,142 | 50,224 | 56,387 |

(出典:事業所・企業統計調査、経済センサス)

2. 湯梨浜町泊地区の主な地域資源

生かしたい泊の資源、知ってほしい魅力

| | | |
|---|---|---|
| <p>海水浴、海</p> <ul style="list-style-type: none"> 海水浴場 石脇海水浴場 石脇海水浴場に青谷からサーファーが集まっている 桜岡 砂浜 | <p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気なおばちゃんたち 泊港西側の砂浜でヨットをしている人 | <p>風景</p> <ul style="list-style-type: none"> 潮風の丘とまりからの泊漁港、石脇海水浴場 潮風の丘 |
| <p>場所</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプ場 港（海） 漁村 漁船館 泊小の校舎、140年の歴史のあるレンガ造 | <p>夏祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の夏の花火 夏まつりの花火 | <p>恐竜</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐竜のモニュメント |
| | <p>魚</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上養殖のヒラメ、アワビなどを使った食べ物 泊ならではの安い魚、新鮮なのでおいしい サカナクワイ屋での船産物販売 陸上養殖：ヒラメ、鯛の駅 魚 | <p>グラウンド・ゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> 発祥地でのグラウンド・ゴルフ |

生かしたい泊の資源、知ってほしい魅力

| | | |
|--|--|---|
| <p>まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> とまり夏まつり、花火 ゆりはま大船まつり 龍郷神社秋の例祭、大名行列 | <p>花</p> <ul style="list-style-type: none"> 原区のバラ園、ヒマワリ畑 トウテイラン（町の花） | <p>グルメ</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍崎館の魚定食 港食堂のラーメン さざなみ |
| <p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> とまり美人（スイカ） 料理自慢（中原醤油） とまり漬け 二十世紀梨、長ゴールド 岩ガキ イギス、海苔 陸上養殖のヒラメ 漁師の魚保存食（シイラの塩粕漬け、ハマチのおから和え） | <p>インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊東部インター、JR泊駅 泊小学校、二つのこども園 空き家が多い | <p>県栽培漁業センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 海洋生物がいるプール お歳サバが生まれた場所 |
| | <p>恐竜</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐竜に会える遊歩道 モニュメント | <p>景色</p> <ul style="list-style-type: none"> 潮風の丘とまりからの風景（朝日、夕日、泊漁港） 漁火 |
| | <p>海</p> <ul style="list-style-type: none"> 石脇海水浴場（売店、キャンプ場、埋り砂、夕日） サーフィン 石脇区から小浜区までの海岸線 | <p>漁村</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧漁港のまちなみ 漁具倉庫 |

3. 湯梨浜町泊地区「海の駅とまり 構想」

(1)「海の駅とまり」の目的

鳥取県中部で有数の漁港である泊漁港の周辺に立地する事業者が連携し「海の駅とまり協議会」を設立。地域の資源を生かし買・食・遊が提供できる施設「海の駅とまり」を目指していく。



■「海の駅とまり」協議会（構成メンバー）



1. 湯梨浜振興合同会社＝ヒラメやアワビを養殖し、販売。特にヒラメは井戸海水を使用した陸上養殖を行っている。
2. 合同会社 ippo＝朝市で鮮魚や干物などの海産物を販売。町内の買い物困難地域へ移動販売車による販売も行っている。
3. 潮風の丘とまり＝全国に愛好者が 300 万人とも言われる「グラウンド・ゴルフ」発祥の地。
4. 有限会社石沼＝泊地域でスイカの漬物「とまり漬け」やげんき梅ブランド商品の一つのクッキーなど、町内の特産品を販売。
5. 民宿海晴館＝石脇海水浴場近くの民宿。地元産の魚や自家製のコメや野菜を使った食事も好評。
6. CROWD SURF＝石脇海水浴場のサーフィンショップ。通常のサーフィンのほか、サーフボードに立ってパドルをこぐ「スタンドアップパドル」のレッスンを行っている。
7. 鳥取県栽培漁業センター＝魚類の養殖や指導などの調査・研究を行っている。陸上養殖されたマサバは、生で食べることが可能。一般の見学を受け付けている。

(2)「海の駅とまり」における事業創出の考え方

① 新たな事業創造の3つのテーマ

3つのテーマで新たな事業創出を！

- 地域課題を解決する
- 地域資源を活かす
- 稼ぐ仕組みをつくる

② 新たな事業創造の視点？ 戦略？

その1：3つの立地特性を活かす・結ぶ

○港＝泊瀬港周辺

→漁村の空き家、漁船や倉庫群、漁村の風情、ヒラメ等の養殖、水産加工販売

○丘＝潮風の丘とまり周辺

→グラウンド・ゴルフの発祥の地、恐竜たち○○頭、スーパースライダー

○浜＝石盛海水浴場周辺

→海水浴場の閉鎖、民宿や売店等、サーフィンの名所



その2：湯梨浜町内の資源と組み合わせる

☆事業化のシナリオ

☆プレーヤー&事業化パートナー

○PJ1 【体験のある日本海の宿】

： 海辺の宿「海晴館」の連携の仕組みづくり・漁村の宿「ゲストハウスとまり」の新設

○PJ2 【唯一無二のアクティビティ】

： 海の駅とまり「グラウンド・ゴルフの聖地ツーリズム」の開発、販路開拓

○PJ3 【海を活かした6次産業化】

： 泊から TOMARI へ！ 海を活かした「潮風の TOMA~RI」の共同開発、ブランディング

(3)「海の駅とまり」の事業創出プロジェクト

PJ1【体験のある日本海の宿】

： 海辺の宿「海晴館」の連携の仕組みづくり・漁村の宿「ゲストハウスとまり」の新設
…事業化のシナリオ

＝新生・石脇海水浴場の再出発、夏の花辺の賑わいを泊地区に、海の花宿らしい海の花PR、サーフィン客との連携、ビーチクリーン活動

＝潮風の花とまりのスーパースライダー・モノライダーのアクティビティと海水浴、宿泊等を結びつける新たな連携商品の開発、サーフィン体験教室

＝漁師の花暮らしが育んだ古民家の再生、漁協のおばちゃん連の花参加、漁村ならではの暮らしや食文化、地域おこし協力隊との連携

…プレーヤー&事業化パートナー

＝民宿海晴館、CROWDSURF、潮風の花とまり、石脇自治会、泊自治会、泊漁協および女性部、地域おこし協力隊、ゲストハウスたみ、HONDA

PJ2【唯一無二のアクティビティ】

： 海の花駅とまり「グラウンド・ゴルフの花聖地ツーリズム」の開発、販路開拓
…事業化のシナリオ

＝日本海の花潮風コース&東郷湖畔の花コースの花異なる2つが楽しめる聖地、施設やサービス等の磨き上げが必要

＝市場の高齢化が深刻、女性（ライトユーザー）がやってみたくなるグラウンド・ゴルフスタイルの花提案が必要

＝美しくなるレディースグラウンド・ゴルフ→天女の花湖畔と潮風の花丘でのウォーキング、健康と美容の花食&スイーツ、源泉かけ流しの花温泉

＝3世代家族で楽しめるアクティビティ、チームをつくる法人研修の機会、全国のグラウンド・ゴルフ愛好家が集う

＝アクティビティ写真をSNSで発信、集客への流れに、必ずここに来ないとできない経験にしなくては＝唯一無二という価値

…プレーヤー&事業化パートナー

＝潮風の丘とまり(指定管理者チュウブ)、ホテル羽衣(JA系列)、グラウンド・ゴルフメーカー、プレマスペース、グラウンド・ゴルフ団体

PJ3【海を活かした6次産業化】

： 泊から TOMARI へ！ 海を活かした「潮風の TOMA～RI」の共同開発、ブランディング
…事業化のシナリオ

＝日本海の海の幸を活かす、漁港のほりにある漁師食堂、水産加工品(土産品やギフト)の開発、「限定海鮮丼 TOMA～RI」の開発

＝鳥取県栽培漁業センターと連携した魚を学び、漁協の女性部の手ほどきで魚捌き体験や漁師料理の体験

＝グラウンド・ゴルフや海水浴場等の需要に対応した商品やレシピの開発、サーファーやゴルファー向けご当地バーガー「潮風バーガー TOMA～RI」の開発

＝海の幸を活かした「潮風スイーツ TOMA～RI」の開発、複数の地元商店や事業者が参加して名物スイーツをみんなで育てる

＝海晴館とばにーに湯梨浜店と倉吉市内等の店舗が参加して、“浜+丘+港”を巡る「潮風のバンフェスタ TOMA～RI」

＝恐竜のランチ&スイーツ&土産品の開発、恐竜好きにはたまらない聖地に、写真映えする素材の可能性あり

…プレーヤー&事業化パートナー

＝湯梨浜振興、ippo、石沼、中原醤油、海晴館、漁協女性部、潮風の丘とまり(指定管理者チュウブ)、鳥取県栽培漁業センター、CROWDSURF、
プレマスペース、ホテル羽衣

泊地域小さな拠点検討協議会の今後の取組み

今後は、提案書の内容を実現させるため、町など各種団体と協力し、買い物機能の具体的な検討（店舗、移動販売、移送サービス等）や基本計画策定、基本設計について協議を続けます。

これからも、住民の皆様のご協力をよろしくお願いします。



協議会の概要

- ・設置 平成28年8月10日
- ・委員 11名（公募、産業界、福祉関係および金融機関より選出）

| 区分 | 氏名 | |
|--------|--------|---------------------------------------|
| 会長 | 遠藤 公章 | 公募 |
| 副会長 | 石沼 友 | 湯梨浜町商工会 副会長 |
| 委員 | 朝日田 卓朗 | 鳥取県漁業協同組合 泊支所 組合員 |
| | 岩本 馨 | 鳥取中央農業協同組合 泊支所 金融共済課兼ふれあい推進課長(~H30.3) |
| | 本田 典子 | 鳥取中央農業協同組合 泊支所 支所長(H30.4~) |
| | 山田 志伸 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(~H29.3) |
| | 石本 義之 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(H29.4~H30.3) |
| | 西田 貴頼 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(H30.4~) |
| | 鷺野 星夫 | 山陰合同銀行泊出張所 出張所長(~H30.1) |
| | 澤 志任 | 山陰合同銀行松崎支店 支店長(H30.1~) |
| | 田嶋 昭彦 | 公募 |
| | 渡邊 由佳 | 公募 |
| 中原 政喜 | 公募 | |
| 石井 美佳代 | 公募 | |
| 坂田 克 | 公募 | |

※オブザーバー 泊地域各区長

【お問い合わせ先】

泊地域小さな拠点検討協議会 事務局（役場 みらい創造室 35-5313）

泊地域小さな拠点 住民アンケート結果

泊地域小さな拠点検討協議会

泊地域小さな拠点検討協議会では、これからも暮らし続けるための「まちづくり」「再生」について、これまで各区長に参加していただき、ご意見をいただきながら、検討を重ねてきました。その中で昨年（平成29年）12月に住民アンケートを実施し、住民の皆様にご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果をふまえて、協議会から町へ提案書を作成しましたので、アンケート結果と共に報告します。

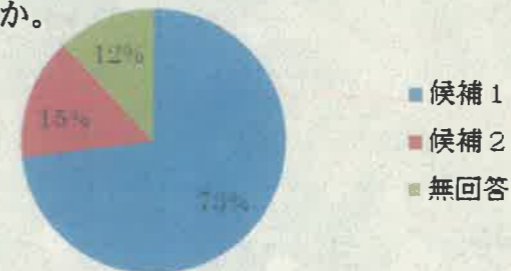
アンケート概要

- ・対象 泊地域全世帯（833世帯）
- ・回収 489世帯（回収率58.7%）
- ・実施時期 平成29年11月下旬～12月中旬



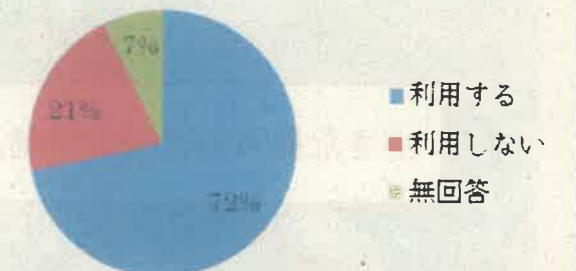
アンケート結果（主な部分、抜粋）

・小さな拠点の場所は、候補1（泊漁港周辺）と候補2（青少年の家敷地内）どちらが良いですか。



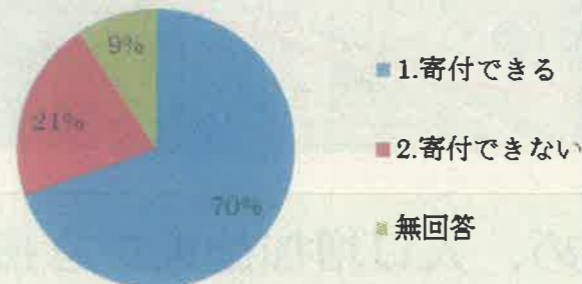
⇒約7割の人が候補1を希望

・拠点に店舗ができた場合、利用しますか。



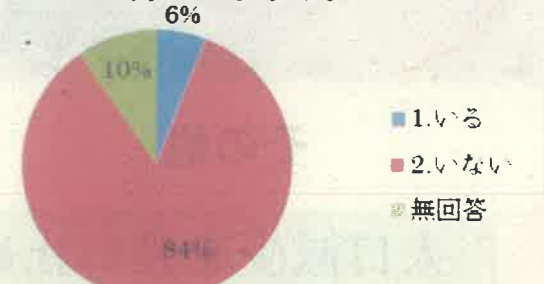
⇒約7割の人が「店舗を利用する」と回答

・店設立のために一口3,000円として寄付できますか。



⇒約7割の人が「寄付できる」と回答

・あなた、及びあなたの周りに泊地域で住宅用地を探している方はいますか。



⇒約6%の人が「いる」と回答

※アンケート結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。

<http://www.yurihama.jp/soshiki/7/1547.html>

提案書を町へ提出しました！

泊地域小さな拠点検討協議会は、これまでの協議と住民説明会（平成29年7月実施）、住民アンケートの結果をふまえて、5月16日に町へ提案書を提出しました。



提案書を提出する遠藤会長(右)



提案内容（概要）

拠点に必要な機能 役場機能（行政サービス機能） ・ コミュニティ機能 ・ 店舗（買い物機能）

拠点の配置場所 第一候補：泊漁港内
第二候補：泊支所周辺（津波等防災上の懸念がある場合）



小さな拠点施設設置候補エリア

既存施設について

| 施設名 | 方向性 |
|----------|---------------------------------|
| 役場泊支所 | 機能を継続。建物は改修。 |
| 中央公民館泊分館 | 機能を新拠点へ移行せず、継続する。建物は将来解体し、新築する。 |
| 漁村センター | 機能を新拠点へ移行。建物は将来解体。 |
| 青少年の家 | 機能を新拠点へ移行せず、建物は将来解体。 |

その他

人口減少を食い止めるため、人口増加施策が急務かつ最重要課題であるため、子育て世代等が新築できる宅地造成や定住できる町営住宅建設を強く要望する。

泊地域小さな拠点検討協議会 提案書

泊地域小さな拠点検討協議会

協議会からの提案

【拠点の機能】

役場機能（行政サービス機能）・コミュニティ機能・店舗（買い物機能）

買い物機能は、今後協議会で詳細検討を進めるが、店舗を設置する場合、規模はコンビニ程度を想定。運営主体は、まず公募を実施し、応募が無い場合は運営主体の設立を検討する。また、移動販売、移送サービスは今後各区と協議を行う。

【拠点の設置場所】

泊漁港内（農林水産省所有地、民有地）を第一候補とする。津波等防災上の懸念がある場合、泊支所周辺を第二候補とする。

<経緯>

- (1) 協議会の検討により、①泊漁港内、②青少年の家 敷地内、③公民館 敷地内へと候補地を絞った。
- (2) 住民説明会での意見集約により、①と②に絞った。
- (3) 協議会での検討により、泊漁港内の津波の浸水への懸念があったため、①「泊漁港内」を「泊漁港および周辺」へと広げた。
- (4) 住民アンケートの結果で、指示が「泊漁港および周辺」73%、「青少年の家 敷地内」15%となった。さらに検討を実施し、第一候補「泊漁港内」、第二候補「泊支所周辺」とした。

【現存施設について】

| 施設名 | 方向性 |
|----------|---------------------------------|
| 役場泊支所 | 機能を継続し、建物は改修する。 |
| 中央公民館泊分館 | 機能を新拠点へ移行せず、機能は継続する。建物は将来、解体する。 |
| 漁村センター | 機能を新拠点へ移行し、建物は将来、解体する。 |
| 青少年の家 | 機能を新拠点へ移行せず、建物は将来、解体する。 |

【その他】

人口減少を食い止めるため、人口増加施策が急務かつ最重要課題であるため、子育て世代等が新築できる宅地造成や定住できる町営住宅建設を強く要望する。

1 取組の背景

泊地域では、昭和20年代をピークに人口減少を続け、現在はピーク時の約半分（約2500人）になっており、人口減少とともに少子高齢化も進んでいる状況である。また、人口減少と同様に、店舗も減少を続けている。

人口減少や店舗等生活に必要な機能が無くなる等により、特に移動手段のない高齢者が今後5年後、10年後も生活が維持できるか不安な状況である。

さらに、泊地域にある公共施設（役場泊支所、中央公民館泊分館、青少年の家、漁村センター）の老朽化が進み、将来にわたって公共サービスや住民活動を維持するためには、更新・集約が必要な時期が迫ってきている。

2 泊地域小さな拠点検討協議会

泊地域の状況をふまえて、生活・福祉サービスや地域活動などのさまざまな機能をつなぐ「小さな拠点」づくりを検討するため「泊地域小さな拠点検討協議会」が設置された。



小さな拠点イメージ図

【概要】

- ・設置 平成28年8月10日
- ・委員 11名（公募、産業界、福祉関係および金融機関より選出）

| 区分 | 氏名 | |
|--------|--------|---------------------------------------|
| 会長 | 遠藤 公章 | 公募 |
| 副会長 | 石沼 友 | 湯梨浜町商工会 副会長 |
| 委員 | 朝日田 卓朗 | 鳥取県漁業協同組合 泊支所 組合員 |
| | 岩本 馨 | 鳥取中央農業協同組合 泊支所 金融共済課兼ふれあい推進課長(～H30.3) |
| | 本田 典子 | 鳥取中央農業協同組合 泊支所 支所長(H30.4～) |
| | 山田 志伸 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(～H29.3) |
| | 石本 義之 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(H29.4～H30.3) |
| | 西田 貴頼 | 湯梨浜町社会福祉協議会 事務局長(H30.4～) |
| | 鷲野 星夫 | 山陰合同銀行泊出張所 出張所長(～H30.1) |
| | 澤 志任 | 山陰合同銀行松崎支店 支店長(H30.1～) |
| | 田嶋 昭彦 | 公募 |
| | 渡邊 由佳 | 公募 |
| | 中原 政喜 | 公募 |
| 石井 美佳代 | 公募 | |
| 坂田 克 | 公募 | |

※湯梨浜町役場みらい創造室：事務局

【経過】

・協議状況

各区長、県中部総合事務所地域振興局をオブザーバーとして協議を実施した。

(平成28年度)

- 第1回 平成28年9月20日
- 第2回 平成28年10月19日
- 第3回 平成28年11月21日
- 第4回 平成28年12月13日
- 第5回 平成29年1月20日
- 第6回 平成29年2月22日
- 第7回 平成29年3月22日（先進地視察（波多コミュニティ協議会）も兼ねる）

(平成29年度)

- 第1回 平成29年4月26日
 - 第2回 平成29年5月18日
- 住民説明会（泊地域全14地区）平成29年7月

第3回 平成29年7月27日

第4回 平成29年8月21日

第5回 平成29年9月25日

第6回 平成29年11月7日

住民アンケート（泊地域全世帯対象）平成29年12月

第7回 平成29年12月25日

第8回 平成30年3月28日

（平成30年度）

第1回 平成30年5月8日

・協議内容

協議会では、泊地域の現状や資源を洗い出し、協議のテーマを「人口減少を食い止めるにはどうすればよいか」、「お年寄りがこれからも地域で生活するためにはどうすればよいか」とし、その対策として、①「住む場所・人の確保」、②「買い物の確保」を検討した。拠点の場所は、候補1：泊漁港周辺、候補2：青少年の家の敷地内、候補3：中央公民館泊分館の敷地内まで絞り込んだ。また、拠点に備える機能は、役場機能、公民館機能、買い物機能とした。

これらの検討内容を各地区で住民説明会を開催して説明し、住民のみなさんの意見を収集して検討の材料とした。さらに、泊地域全世帯を対象としたアンケートを実施し、検討の方向性を決定した。

3 住民説明会

【概要】

平成29年7月に泊地域全14地区で説明会を開催し、泊地域の現状、協議会の方針、検討状況（小さな拠点に備える機能、場所）について説明し、住民の皆さんの意見を伺った。（全参加者155人）

【主な意見】

<住む場所・人の確保について>

- ・「宅地があれば」という声を聞いたことがある。泊地域に宅地を探している家族がいる。
- ・宅地としては、インターチェンジ、JA付近や浜山団地～宇谷区、原区の国道9号線～丘陵地が良いと思う。
- ・空き家を利活用できないか。（所有者と移住者のマッチングが難しい。車を置けない。）

<買い物について>

- ・移動販売が良いと思う。（地区内まで来てほしい。生鮮品を扱ってほしい。）
- ・店舗があれば良いと思うが、運営方法をどうするかが課題。持続できるか疑問。住民、若い世代が応援する形が必要。
- ・コンビニがほしい。

- ・ ネットやタブレットで注文、配達してはどうか。ただし、高齢者は使いづらいと思う。
- ・ 現在は、生協の宅配を利用しているが、割高。
- ・ 現在は、社協買い物バス、路線バス、JRを利用して買い物をしている。

<拠点の場所について>

- ・ 複数機能を一カ所にするのは良いこと。
- ・ 候補1（泊漁港周辺）が便利で良いが、津波が心配。（津波は仕方がない部分とも思うが。）
- ・ 候補2（青少年の家の敷地内）は津波の心配がなく、広くて良いと思う。歩いて登るのは大変。
- ・ 候補3（公民館泊分館の敷地内）は、坂が気になる。歩いて登るのは大変。
- ・ インターチェンジ、JA付近は拠点にできないか。

<その他>

- ・ 医院の継続をどうするか。
- ・ サーファーが多く来ているので、移住につなげられないか。
- ・ 公園、釣り堀、水族館など特色を出せないか。
- ・ 泊小学校は、継続させるべきで、良い教育環境だと思う。もっと外にPRをしないとイケない。

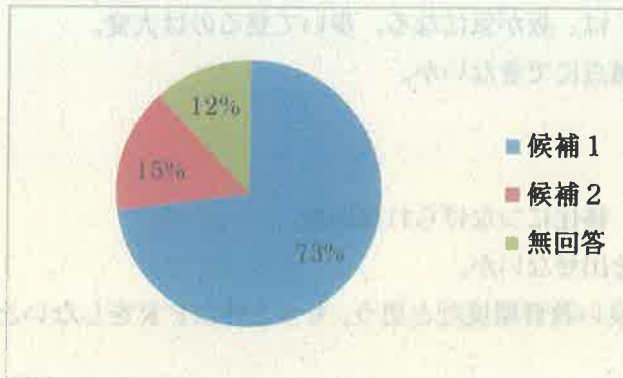
4 住民アンケート

【概要】

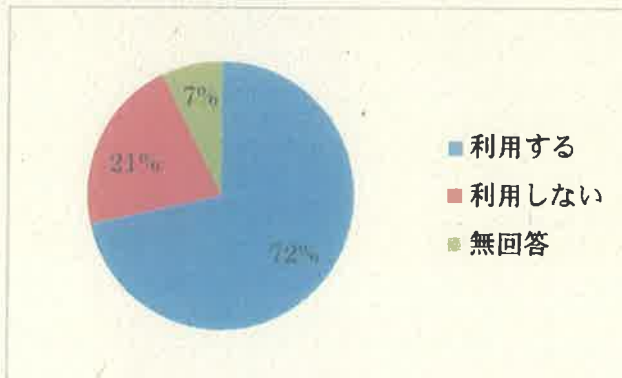
- ・対象 泊地域全世帯（833世帯）
- ・回収 489世帯（回収率58.7%）
- ・実施時期 平成29年11月下旬～12月中旬

【結果（抜粋）】

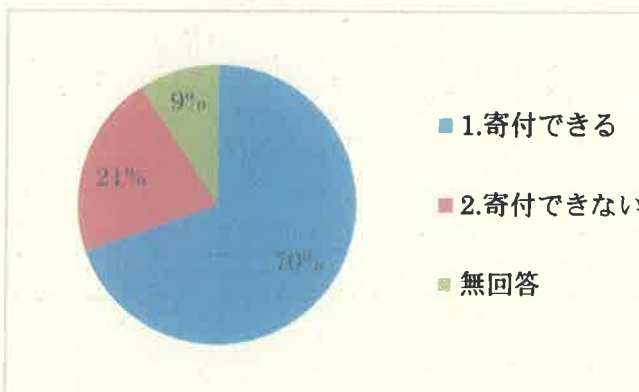
- ・候補1（泊漁港周辺）と候補2（青少年の家の敷地内）どちらが良いですか。



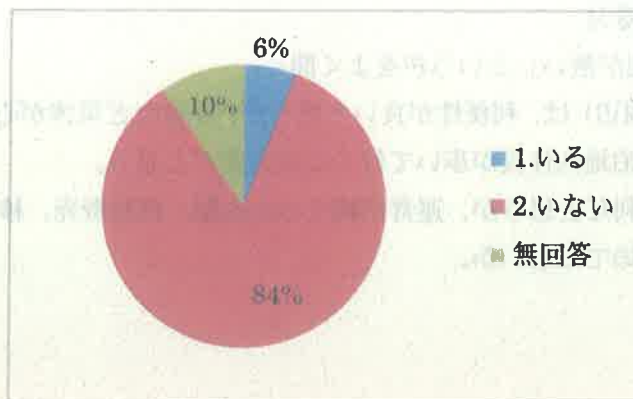
- ・拠点に店舗ができた場合、利用しますか。



- ・店設立のために一口3,000円として寄付できますか。



- ・あなた、及びあなたの周りに泊地域で住宅用地を探している方はいますか。



(希望エリア)

泊区周辺 (7件)、泊地域内 (3件)、浜山区 (3件) 港周辺 (2件)、石脇区、園区、原区、宇谷区、役場辺り

多数おり悩んでいる。世代間の考えの違い

平地で駐車場がある所

小学校や9号線に出やすいあたり

海が見える地域

【その他、主な意見】

○拠点の位置について

- ・送迎が確実であれば候補2も良いと思う
- ・候補1、2ではなく泊地域外の方でも立ち寄りやすい場所とした方が持続可能となるものと思います
- ・自分自身の運動のため歩いて行く

○買い物機能 (店舗、移送、移動販売、宅配) について

- ・年を取ったときに、近所にスーパーがあるのは便利です。20年、30年その後も続くような店になって欲しい。その為には利用しなくては行けません。
- ・現在は、運転できるが、免許を返納したら利用したい (移送、移動販売、宅配)
- ・移動販売、大賛成です。自分の地域に来るのであれば利用する

○寄付について

- ・内容次第では一口3,000円以上でも可

5 オブザーバー（各区長）からの主な意見

- ・「住みたい場所を探しているが土地が無い」という声をよく聞く。
- ・拠点の位置として候補1（泊漁港周辺）は、利便性が良いと思うが、津波など災害が心配。一方、候補2（青少年の家の敷地）は、泊地区住民が歩いて行くには大変だと思う。
- ・買い物機能については、店舗が便利だと思うが、運営が続くのか心配。移動販売、移送サービスがあれば住民にとっては、便利なのではないか。

（代り工監席）

町長、副町長、町議、（特選）投票所（特選）若山町、（特選）内浦町、（特選）西浦町、
 及び津波、刈谷、
 及び漁港の周辺、及び青少年の家の敷地、
 及び移動販売、移送サービス、
 及び投票所、及び投票所

【見直し、追加】

及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、

及び投票所の設置、

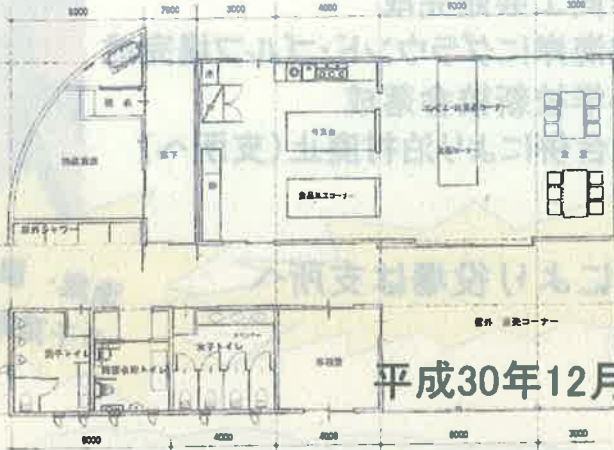
及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、
 及び投票所の設置、

及び投票所の設置、

及び投票所の設置、

生涯活躍のまち泊地域拠点整備基本計画

- ・地域の課題解決を形にする
- ・小さな拠点「とまりん場(仮)」の建設運営の実現
- ・日本一しあわせな地域にするための拠点づくりをめざそう



平成30年12月21日

湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会
(株)地域資源活用研泊地域研究所 澤田廉路

生涯活躍のまち泊地域拠点整備基本計画 ～日本一しあわせな小さな拠点づくり～



小さな拠点 「とまりん場」

とまりん場

湯梨浜町

(株)地域資源活用研究所 澤田廉路

1. 泊地区の状況

漁業と農業で栄え、最盛期は集落内に100名余りの児童生徒がいた！



- 大正7年4月 久津賀・泊・三橋の三カ村が合併し旧泊村が設立
- 昭和46年10月 泊村役場庁舎落成
- 昭和50年4月 中央公民館オープン
- 昭和57年4月 泊村漁村センター開所
- 昭和58年10月 泊村商工会館完成
- 昭和59年5月 石脇海岸にグラウンド・ゴルフ場完成
- 昭和63年4月 泊小学校新校舎落成
- 平成16年10月 広域合併により泊村廃止(支所へ)



閉店したガソリンスタンド

合併により役場は支所へ

漁業・農業の衰退！
少子高齢化！

集落内は人かけがなく、子供の声も聞こえなく無力感が漂っていた！



1. 泊地区の状況

位置

鳥取県のほぼ中央にありながら、少子高齢化の勢いは止まらず地域の生活機能が低下している。隣接する倉吉市の中心部まで車で20分ほどで行くことができ県庁所在地の鳥取市、また米子市にも約1時間で行くことができる。合併した後、町東端に位置し、行政の中心部から離れ、ガソリンスタンド、コンビニなどが店を閉めた。また、個人経営の商店も店を閉めるなどして、車が運転できない高齢者には買い物ができない不自由な地域になってしまっている。

湯梨浜町中心の旧羽合町、旧東郷町などと利便性や行政サービスに大きな格差が生じている。



人口

泊村(合併前) H12.10

泊地区(合併10年)H27.10国勢調査

■世帯数 : 885戸
 ■人口 : 3,056人
 高齢者65歳以上 : 814人 14歳以下478人
 (高齢化率 26.6% 14歳以下比率15.6%)

10年

■世帯数 : 833戸
 ■人口 : 2,518人
 高齢者65歳以上 : 852人 14歳以下303人
 (高齢化率33.8% 14歳以下比率12.0%)

事業所

| | H8 | H13 | H16 | H21 | H24 | |
|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業所数 | | 138 | 127 | 95 | 93 | 74 |
| 従業員数 | | 768 | 730 | 416 | 555 | 422 |

(出典 : 事業所・企業統計調査、経済センサス)

危機感



このままでは、少子高齢化が進み集落機能の維持ができない

なんとかしなければ！ **泊が消滅する！！**

5

2. 活性化への取り組み

第1段階 有志による取り組み

有志10事業者による

泊をなんとかせないかん！

■ 平成28年 海の駅泊協議会 発足

行政に、アドバイスや支援をお願いします！



わかりました、主人公は住民ですよ！
 集落全体で汗をかき、
 責任を持って未来の絵を描いてください！
 行政はプロデュースとサポートに徹します！

6

2. 活性化への取り組み

第2段階 地区と行政が一丸となった取り組み(平成28年～)

湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会(地元住民等11名、役場事務局3名)



みんなで地域の課題を整理し、どうやったらいいか考えよう!

地域の強み(S)、弱み(W)と社会情勢のチャンス(O)、ピンチを抽出(T)し、地域の課題解決のためにどんなヒト、モノ、カネ、情報を活用するか考えて活性化のための拠点整備を実現していこう!



そうだ、意見を出して、拠点の名前も考えよう!

地域の産物の加工所・直売所、コンビニ機能、地域住民が集まれる場所、海に来た人のシャワー、トイレがあればいいな!
泊に来てもらって「とまりん場」は、どうだろう?

⇒専門家にこの要望のイメージ・絵を描いてもらおう

7

2. 活性化への取り組み

泊の強み弱み等の抽出(SWOT分析)を住民がする

強
み
(S)

- ・美しい海と漁港(養殖ヒラメ・定置網、サーフィンができる)
- ・グラウンド・ゴルフ
- ・泊美人、泊漬
- ・海産物、農産物
- ・集落ごとの個性、団結力!

弱
み
(W)

- ・お店がない、買物が不便
- ・人が集まる場所がない
- ・土地が狭い
- ・認知度が低い

チャ
ンス
(O)

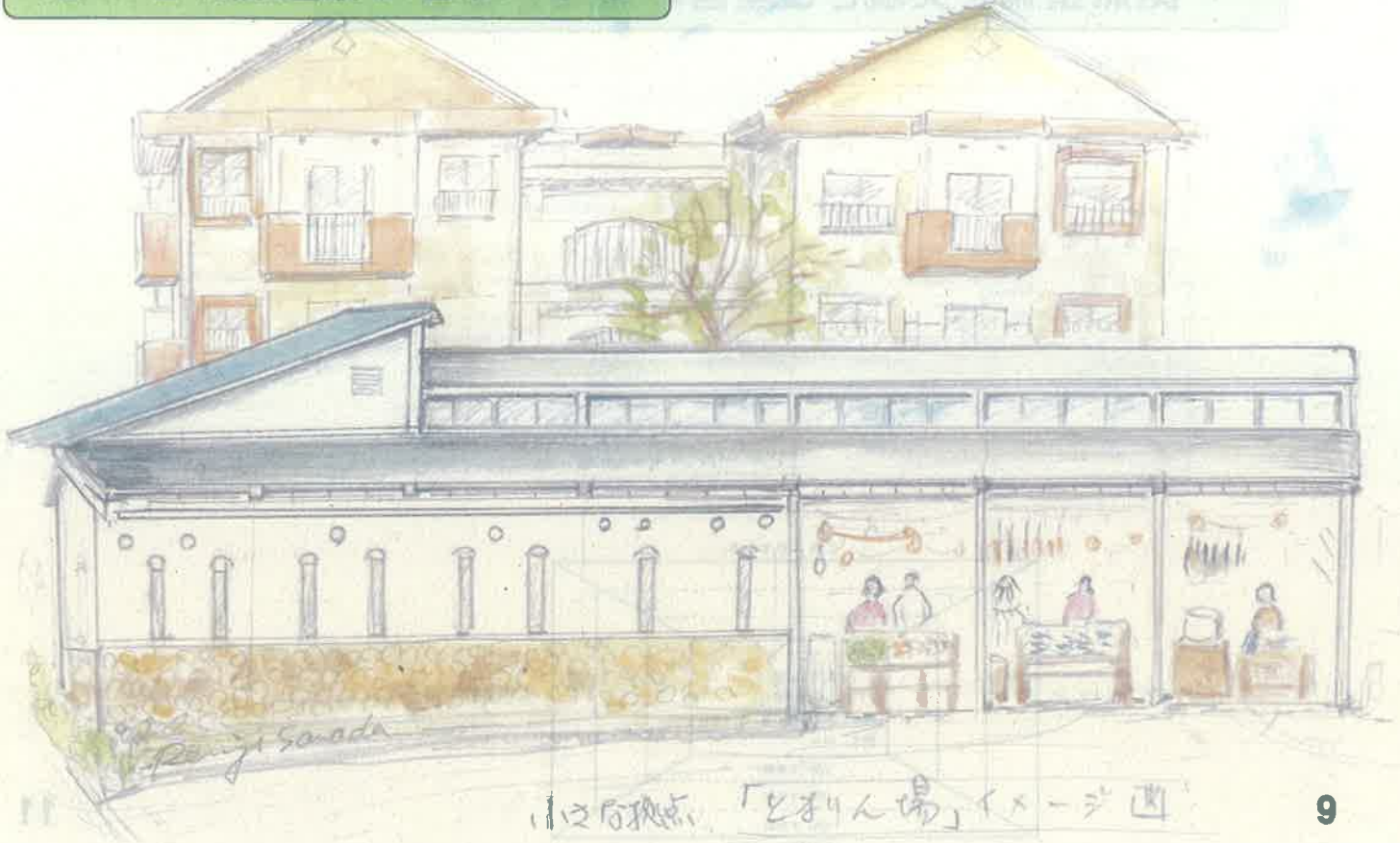
- ・移住者がいる
- ・JRの駅がある
- ・潮風の丘とまり
- ・定置網、火曜の朝市
- ・風光明媚なウォーキングコース
- ・高速道路のインターチェンジ

ピンチ
(T)

- ・少子高齢化
- ・後継者がいない
- ・漁師の減少、漁業、農業の衰退
- ・銀行の撤退
- ・商店の閉店

2. 活性化への取り組み

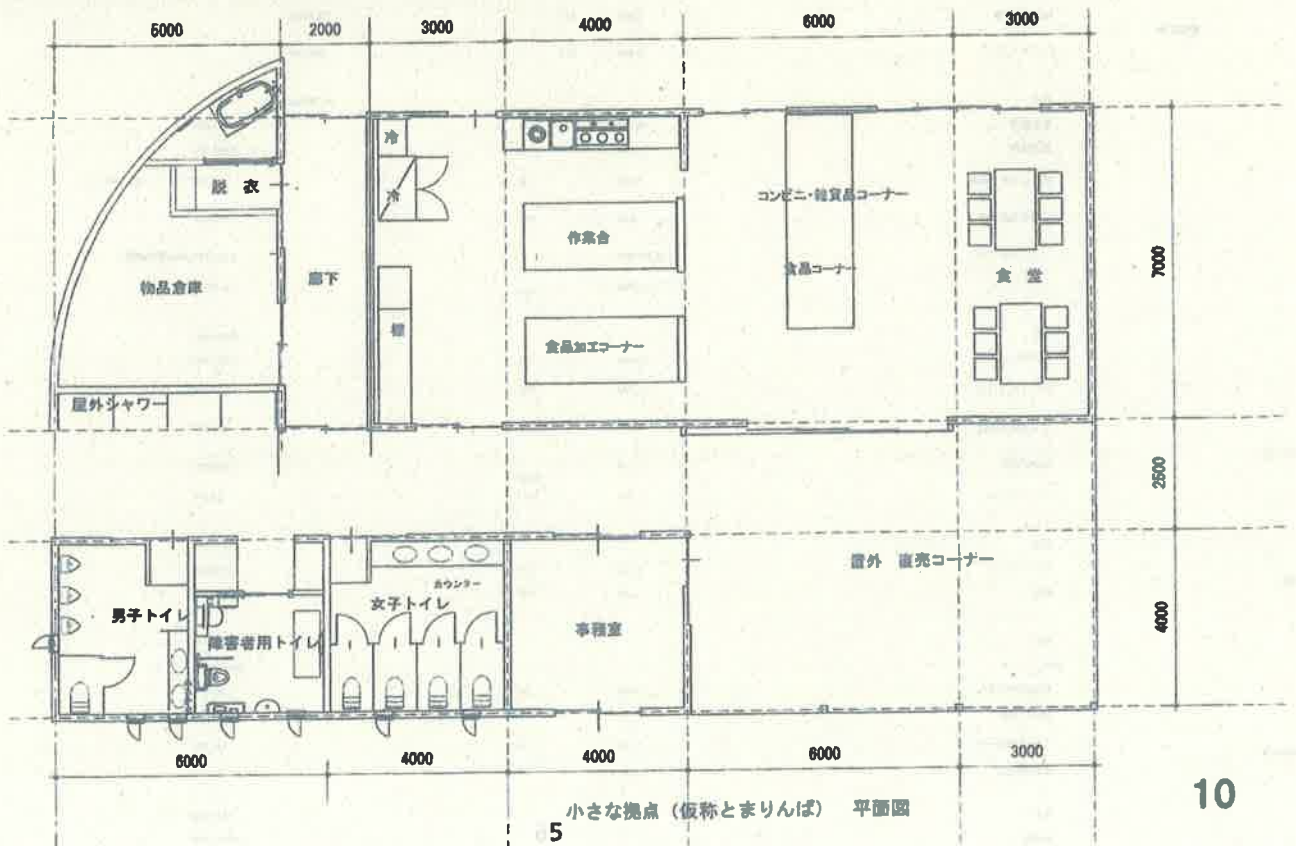
泊の地域課題解決を形にする



9

2. 活性化への取り組み

泊の地域課題解決を形にする



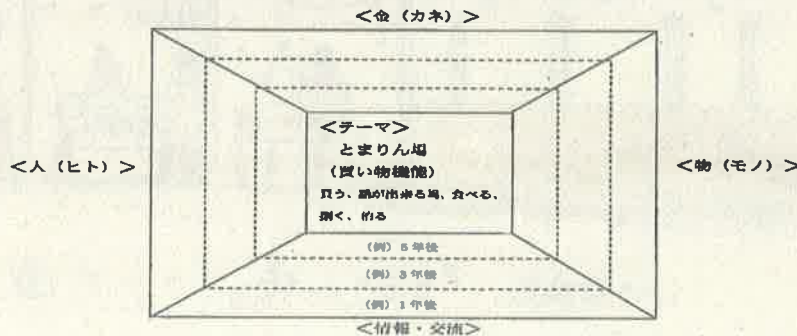
10

2. 活性化への取り組み

拠点整備を実現させ運営の戦略をねる

【宿題回答】

| <金(カネ)> | | <物(モノ)> | |
|-------------------------------------|----|--|----|
| ・ふるさと納税活用 | 伊 | ・定期購で採れた鮮魚 | 伊 |
| ・クラウドファンディングの活用 | 伊 | ・養殖ヒラメ | 伊 |
| ・地方再生交付金 | 山崎 | ・産居の人が生活できるお店の自販機 (たまごの自販機をイメージ) | 山崎 |
| ・寄付金 | 西田 | ・産もが山崎販売できる機能を設置 | 西田 |
| ・1日限定販売スペースを毎日確保し、出店者から売上の一部を還元していた | | | |
| <人(ヒト)> | | <情報・交流> | |
| ・コーディネート的人材 | 伊 | ・各地の道の駅成功例をイメージ | 伊 |
| ・テナント契約の活用 | | | |
| ・インスタグラムなど情報をSNSで発信できる人 | 山崎 | ・河東ドローン輸送が実現したときの中継基地機能 | 山崎 |
| ・日中時間が作れる子育て中の主婦 | | ・グランド・ゴルフ記念館 | |
| ・全国のグラウンド・ゴルフの愛好家 | | ・大規模なイベント開催の開催 | |
| | | ・子どもや愛好家のカードバトル大会やコレクション展覧会などで施設を活用していくイベントを開催する | |
| ・働けるボランティア募集(食事のみ提供) | 西田 | ・空き家を利用し、情報網を整備 | 西田 |
| | | ・SNSを活用 | |



2. 活性化への取り組み

拠点の施設整備見積書

2018/1/4

| | 円/m | 量(m) | 小計 | 備考 |
|----------|------------|------|-------------|---------------|
| 躯体工事 | | | | |
| 躯体 | 76,900 | 322 | 24439800 | |
| 仕上げ | 169,850 | 322 | 54369700 | |
| 階段・その他 | 5,000 | 322 | 1610000 | |
| 防音対策工事 | 2,690 | 322 | 866,180 | |
| 小計 | | | 81,785,680 | |
| 電気設備 | 34,320 | 322 | 11,051,040 | |
| 通信設備 | 15,170 | 322 | 4,884,740 | |
| 照明センサー設備 | 3,620 | 60 | 217,200 | 照明センサー WC 1ヶ所 |
| 電器その他設備 | 1,500 | 322 | 483,000 | |
| 防音対策工事 | 13,370,000 | 18 | 13,370,000 | 10KW 騒音対策 |
| 防音対策工事 | 17,450 | 322 | 5,618,900 | |
| 小計 | | | 30,065,980 | |
| 防音対策工事 | 39,850 | 322 | 12,831,700 | |
| 防音対策工事 | 21,230 | 322 | 6,836,060 | |
| 防火設備その他 | 1,800 | 322 | 579,600 | |
| 身障者便所 | 2,720 | か所 | 2,720,000 | |
| 防音対策工事 | 210 | 322 | 67,620 | |
| 小計 | | | 23,036,980 | |
| 防音対策工事 | 5,260 | 590 | 3,103,400 | |
| 緑化 | 5,730 | 590 | 3,085,700 | |
| 小計 | | | 6,189,100 | |
| 合計 | | | 140,525,740 | |
| 木造建物解体 | 18,000 | 130 | 2,340,000 | |
| 管理棟解体 | 7,100 | 130 | 923,000 | |
| 土間コンクリート | 3,400 | 130 | 442,000 | |
| 造作材料費 | 900 | 130 | 117,000 | |
| 小計 | | | 3,822,000 | |
| 税金計 | | | 144,337,740 | |